

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート（事後評価）

評価実施年月：平成 29 年 2 月

1. 対象事業	香取市公共下水道 香取市公共下水道合流式下水道緊急改善事業			
2. 実施主体名称	香取市			
3. 計画期間	平成 22 年度～平成 25 年度			
4. 対象事業の進捗状況				
平成 21 年度策定の計画に基づき、以下の対策を実施した。				
①汚濁負荷量の削減				
②公衆衛生上の安全確保				
・（①②として）しゃ集ポンプの増設（5 台（実績）/5 台（計画））				
・（①②として）雨水沈砂池及びポンプ井ドライ化ポンプの設置（5 台（実績）/5 台（計画））				
③きょう雑物の削減				
・全ての雨水吐口にスクリーンを設置（雨水吐口 2 箇所（実績）/2 箇所（計画））				
※計画策定以前からスクリーン設置済み				
5. 目標達成状況と達成の見通し				
【改善目標】				
① 汚濁負荷量の削減（分流式下水道並みの汚濁負荷）				
→分流式下水道並みの汚濁負荷：BOD 放流負荷 62,647kg/年以下				
② 公衆衛生上の安全確保（未処理放流回数の半減）				
→未処理放流回数：30 回/年以下				
③ きょう雑物の削減（きょう雑物の流出防止）				
→雨水吐口 2 箇所にスクリーン設置				
※計画策定以前からスクリーン設置済み				
【目標に対する達成状況】				
改善項目	評価指標	対策前	改善目標	事後評価 （平成 28 年度）
緊急改善事業	合流式下水道改善率	0%	100%	100%
①汚濁負荷量の削減	BOD 放流負荷量	68,235kg/年	62,647kg/年	61,890kg/年
②公衆衛生上の安全確保	年間越流回数	61 回/年	30 回/年	30 回/年
④ きょう雑物の削減	スクリーン設置箇所数	2 箇所	2 箇所	2 箇所
※計画策定以前からスクリーン設置済み				
【改善期限までの目標達成の見通し】				
当面の目標（汚濁負荷の削減、公衆衛生上の安全確保、きょう雑物の削減）に関する全ての対策が完了している。				
6. 対象事業の整備効果の発現状況				
① 汚濁負荷量の削減				
BOD 放流負荷量 68,235kg/年を 61,890kg/年に削減 → 約 1 割の削減率				
② 公衆衛生上の安全確保				
年間越流回数 61 回を 30 回に削減 → 未放流回数を半減				
③ きょう雑物の削減				
雨水吐口 2 箇所にスクリーン設置				
7. 事業の効率化に関する取り組み状況				
ポンプ井ドライ化ポンプの仕様を気中運転型としたことで、ポンプ井底板を加工することなくドライ化ポンプ据え付けが可能となり、ポンプ井の水替え・底板加工等の工程を削減し、工期の短縮及び工事費用の縮減を果たした。				
8. 今後の方針				
香取市公共下水道では、合流式下水道緊急改善計画で位置付けた改善目標を達成するための対策が完了した。評価の結果、目標は達成された状況にある。今後は、施設の適正な維持管理を継続し、河川への放流汚濁負荷量低減に努める。				